

令和5年度 学校自己評価システムシート（埼玉県立越谷南高等学校）

目指す学校像	「文武両道」をとおして「知・徳・体」の調和を実現し、目標を高く持って社会に貢献する人材を育てる学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> PISA タイムやICT 活用による授業改善・教材開発を推進し、生徒が実感できる確かな学力の向上を確立する。 自主性を育むメリハリある生徒指導やきめ細やかな進路指導を充実させ、学校行事や部活動など「文武両道」に基づく豊かな人間性を育成する。 外国語科の特性を生かし、異文化理解を深め、語学力を向上させ、主体的にコミュニケーションを図ることができる生徒を育成する。 教育活動を積極的に地域・保護者に発信し、開かれた学校づくりを更に推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】「PISA タイム」を1年間実施して、課題や改善点が明確になった。課題解決や改善に向け、委員会が中心となって取り組む必要がある。また、1・2年生の授業以外での学習習慣を身に付けさせるために、入学当初から、進路を意識した学習の必要性を気付かせる指導が更に必要である。</p> <p>【課題】○「PISA タイム」に取り組む意欲を維持・向上させる。また、引き続き教材研究・開発を行う。 ○学習の必要性を理解させ、授業以外の学習時間を増加させる。</p>	<p>昨年度の「PISA タイム」実施での課題や改善点の解決に向けて迅速に対応する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2回の外部模試結果を分析して、実施方法等の工夫・改善策を委員会で検討する。 生徒の取組状況が見える化できるフォームを作成する。 委員会で教材選定理由を集約し、以降の教材選定に活かす。 	<ol style="list-style-type: none"> 工夫・改善策の策定 新フォームの作成 選定理由の集約と提供した情報数 		
		<p>1年生及び2年生で家庭学習時間(隙間時間も含む)が2時間以上の学習者率が向上する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> スタディサプリ活用方法について学年・教科で指導する。 学校評価アンケート集計結果で、経年変化等を分析する。 面談や越南 Diary 等でスケジュール管理状況を把握・確認する。 	<ol style="list-style-type: none"> スタディサプリ視聴時間と昨年度との比較 授業以外での学習時間 越南 Diary 等の活用率と面談の回数 		
2	<p>【現状】多くの生徒は基本的な生活習慣が身に付き、部活動、学校行事、生徒会活動にも意欲的に取り組んでいる。また、多くの部が高い実績を収めている。進路未決定者は5%未満で推移している。</p> <p>【課題】○部活動統一休養日の生徒活用状況を把握する。 ○創立50周年記念事業を進めるにあたり、学校行事との調整を図りながら計画的に行う。</p>	<p>部活動休養日等を有効に活用して充実した学校生活を送る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 担任や部顧問が部活動休養日の生活状況を点検し指導する。 学年集会や全校集会の講話の中で可処分時間の活用についての内容を含める。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートの高校生活に関する満足度 集会等内の講話の中で話題にした回数 		
		<p>創立50周年記念事業を計画に基づき滞りなく実施する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 5つの部の進捗状況を周年行事検討委員会及び企画運営委員会で情報を共有する。 外部関係各所との連絡調整と申請や依頼を複数の担当者で行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①創立50周年式典及び記念整備事業等の計画的な準備と円滑な実施 		
3	<p>【現状】海外語学研修は、費用面や安全性確保の関係で実施ができていない。ALTの活用や外国語科行事への案内等で、普通科生徒にも異文化理解への関心度が徐々に高まっている。</p> <p>【課題】○外国語科生徒の学校満足度を維持して国際感覚や語学力を高める。 ○外国語科で蓄積した異文化理解教育のノウハウを普通科へ波及させる。</p>	<p>外国語科特有の教育活動を通して国際感覚の育成と語学力の向上に取り組む。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 昨年度延期したブリティッシュヒルズでのセミナー等、国内代替施設での体験型研修を充実させる。 プレゼンテーションや英語劇等、生徒が英語で考え、表現できる活動を積極的に取り入れる。 大使館等関係機関からの職員派遣による行事の企画や海外研修派遣事業への応募・申請を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②外国語科生徒の語学力向上及び学校評価アンケート学校生活満足度 ③校外での語学研修以外の事業の企画及び生徒派遣事業への応募・申請数 		
4	<p>【現状】大・小規模学校説明会は計16回開催で約1,100組参加し、部活動見学は実施方法を工夫した。ICT活用のノウハウを他校や異校種へ還元している。</p> <p>【課題】○学校説明会や部活動見学の実施時期や方法を更に工夫・改善する。 ○Chromebookの共同購入とICT推進の相談校としての役割を果たす。</p>	<p>生徒募集活動の工夫・改善と最新の学校の教育活動とその成果の発信を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 学校説明会の開催時期の見直しと申込方法等の工夫・改善を行う。 部活動の成果及び進路状況等をホームページに随時更新する。 本年度共同購入代表校に共同購入手続きのノウハウを伝え、円滑に導入する。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校説明会、部活動見学会等の合計参加者数 ホームページへの更新情報数とホームページの閲覧者数 共同購入代表校への助言と適正・円滑な選定 		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

